

平成25年3月期 決算説明資料



株式会社フジトミ



JASDAQ上場：証券コード8740

目次

事業の内容	・・・	1
事業所	・・・	2
平成25年3月期決算について／表紙	・・・	3
平成25年3月期決算の概要	・・・	4
セグメント別の業績概要	・・・	5
業績概況	・・・	6
貸借対照表	・・・	7
業績推移	・・・	8
＜投資サービス事業＞四半期営業収益の推移	・・・	9
＜生活・環境事業＞四半期営業収益の推移	・・・	10
＜商品先物取引＞営業収益の推移	・・・	11
＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳	・・・	12
＜商品先物取引＞自己売買損益の市場別内訳	・・・	13
平成26年3月期業績予想について／表紙	・・・	14
平成26年3月期業績予想について	・・・	15

本資料は、平成25年3月期の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。

本資料は、3月31日時点でのデータを元に作成しております。

事業の内容

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社、親会社（株）小林洋行）及び関連会社2社（株）エコ&エコ、（株）日本ゴルフ倶楽部）により構成されております。

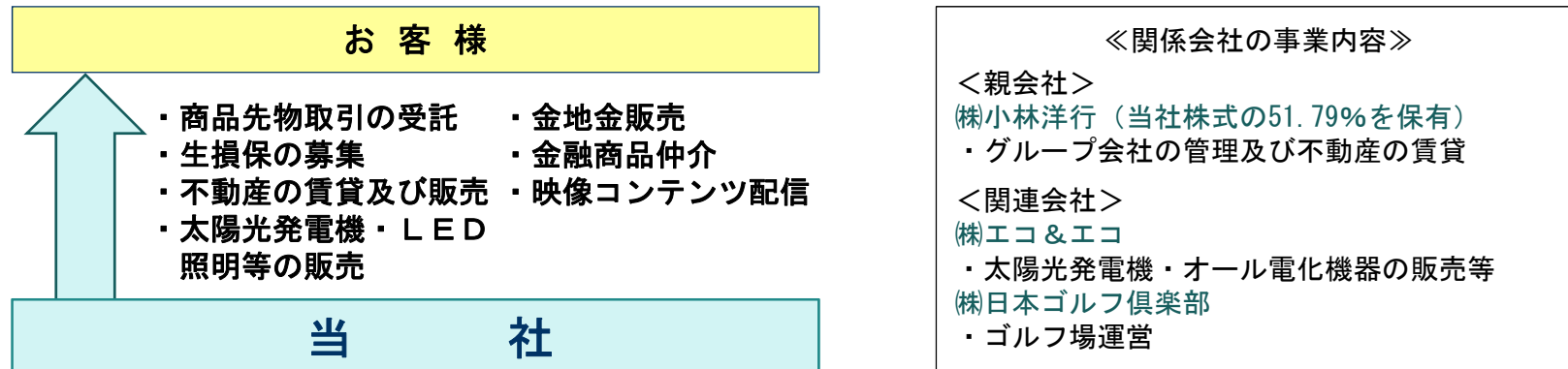
当社の事業内容は次のとおりであります。

(1)投資サービス事業

- ①商品先物取引業：商品先物取引法に基づき設置された商品取引所が開設する商品市場に上場されている各種の商品先物取引について、顧客の委託を受けて執行する業務（受託業務）及び自己の計算に基づき執行する業務（自己売買業務）を行っております。
- ②その他：金融商品仲介業及び金地金販売等を行っております。

(2)生活・環境事業

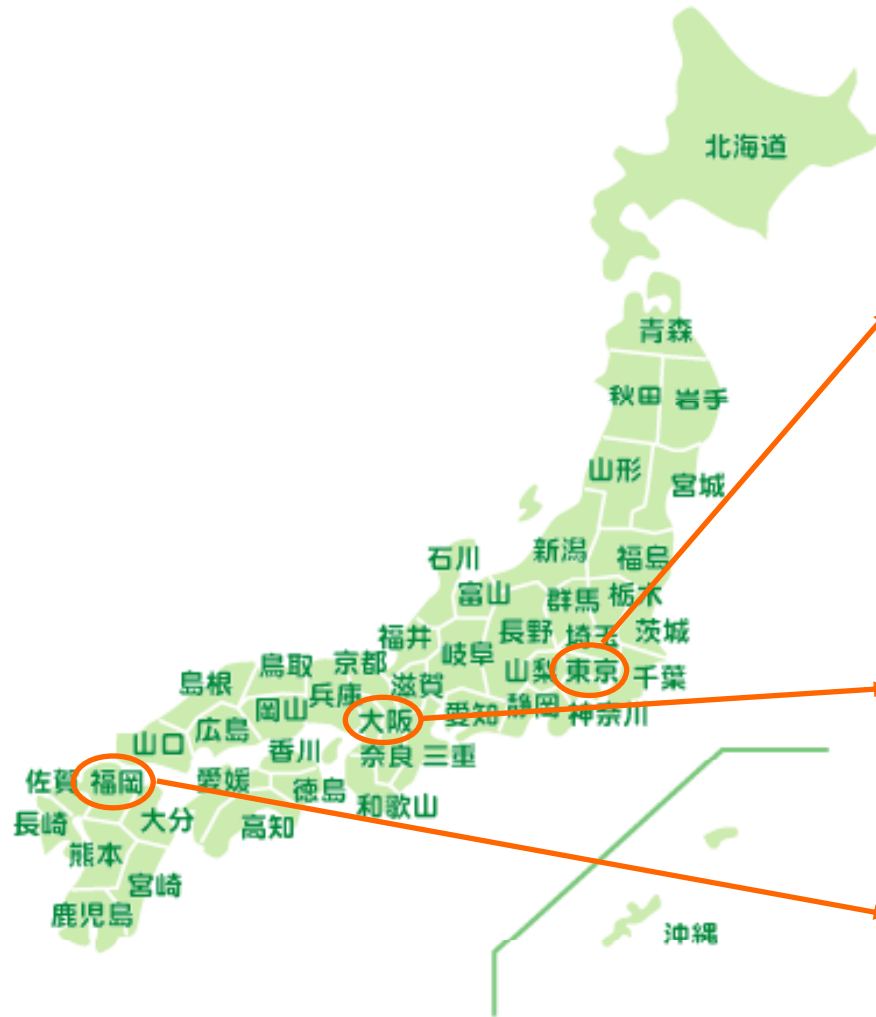
- ①保険募集業務：生命保険の募集業務及び損害保険代理店業務を行っております。
- ②不動産業：不動産の賃貸及び不動産の販売を行っております。
- ③その他：太陽光発電機及びLED照明等の販売、映像コンテンツ配信業務等を行っております。



※ 当社と各関係会社は別個に事業を営んでおり、当社が親会社（株）小林洋行）所有ビルを賃借して本社として使用しているほか、当社と各関係会社の事業上の重要な関係はありません。

※ 連結子会社であった（株）エコ&エコは、当社保有株式の過半を平成24年5月に売却したことにより関連会社となりました。

事業所



本社：東京都中央区日本橋蛸殻町
1-15-5

大阪支店：大阪府大阪市中央区南船場
3-4-26

福岡オフィス：福岡県福岡市早良区西新
5-3-9

平成25年3月期 決算について



平成25年3月期決算の概要

<業界環境及び経営成績>

わが国の商品先物取引市場におきましては、市場規模の縮小が続いており、当事業年度の全国商品取引所の出来高合計は2,811万枚（前期比14.6%減）となりました。主な市場別出来高は、貴金属市場が1,933万枚（前期比18.7%減）、石油市場が474万枚（前期比1.9%増）、農産物市場が168万枚（前期比13.6%減）となっております。

市場の縮小に伴い、東京穀物商品取引所は、平成25年2月8日に取引を終了し、東京商品取引所及び大阪堂島商品取引所の2つに集約されました。

このような環境のなか、当社は、商品先物取引業を中心とする「投資サービス事業」につきましては、引続き営業費用の削減を図ると共に、収益の維持向上のための集客力強化に努めました。

「生活・環境事業」につきましては、採算改善と安定収益確保のため、事業内容の見直しを行い、子会社であった(株)エコ&エコ（太陽光発電機・オール電化機器等の販売）の当社保有株式の過半を5月に売却し関連会社（連結対象外）とすると共に、新たに映像コンテンツ配信業務を6月から開始いたしました。また、保険募集業務については、ファイナンシャルプランナーとの連携等による顧客層の拡大を進め、不動産の賃貸及び販売については、良質物件の取得を積極的に行い収益拡大を図りました。

これらの結果、当事業年度の業績は次の通りとなりました。

営業収益	1,986百万円（前期比127.5%増）
営業費用	1,138百万円（前期比1.0%増）
営業損失	49百万円（前期は営業損失297百万円）
経常損失	27百万円（前期は経常損失283百万円）
当期純利益	7百万円（前期は当期純損失544百万円）

※ 当社は平成24年3月期は連結業績を開示しておりましたが、子会社が無くなり平成25年3月期から単独決算となったため、前期比は平成24年3月期の当社個別の数値との比較を記載しております。

セグメント別の業績概要

1. 投資サービス事業

当事業年度の投資サービス事業の営業収益及び営業総利益は896百万円（前期比20.3%増）、セグメント損失は78百万円（前期は222百万円）となりました。

①商品先物取引受託業務

商品先物取引受託業務の受取手数料は888百万円（前期比23.0%増）となりました。

②商品先物取引自己売買業務

商品先物取引自己売買業務の売買損益は△2百万円（前期は4百万円）となりました。

③その他

金地金販売による売買損益は6百万円（前期は14百万円）、金融商品仲介業の受取手数料は3百万円（前期は1百万円）、その他0.5百万円となりました。

2. 生活・環境事業

当事業年度の生活・環境事業の営業収益は1,090百万円（前期は128百万円）、営業総利益は192百万円（前期は85百万円）、セグメント利益は29百万円（前期はセグメント損失74百万円）となりました。

①保険募集業務

保険募集業務の受取手数料は69百万円（前期比11.4%増）となりました。

②不動産業

不動産の賃貸料収入は38百万円（前期比37.7%増）、不動産販売の売上高は865百万円（前期は19百万円）となりました。

③その他

太陽光発電機及びLED照明等の売上高は46百万円（前期は18百万円）、映像コンテンツ配信の売上高は64百万円、その他5百万円となりました。

※ 当社は平成24年3月期は連結業績を開示しておりましたが、子会社が無くなり平成25年3月期から単独決算となったため、前期比は平成24年3月期の当社個別の数値との比較を記載しております。

業績概況

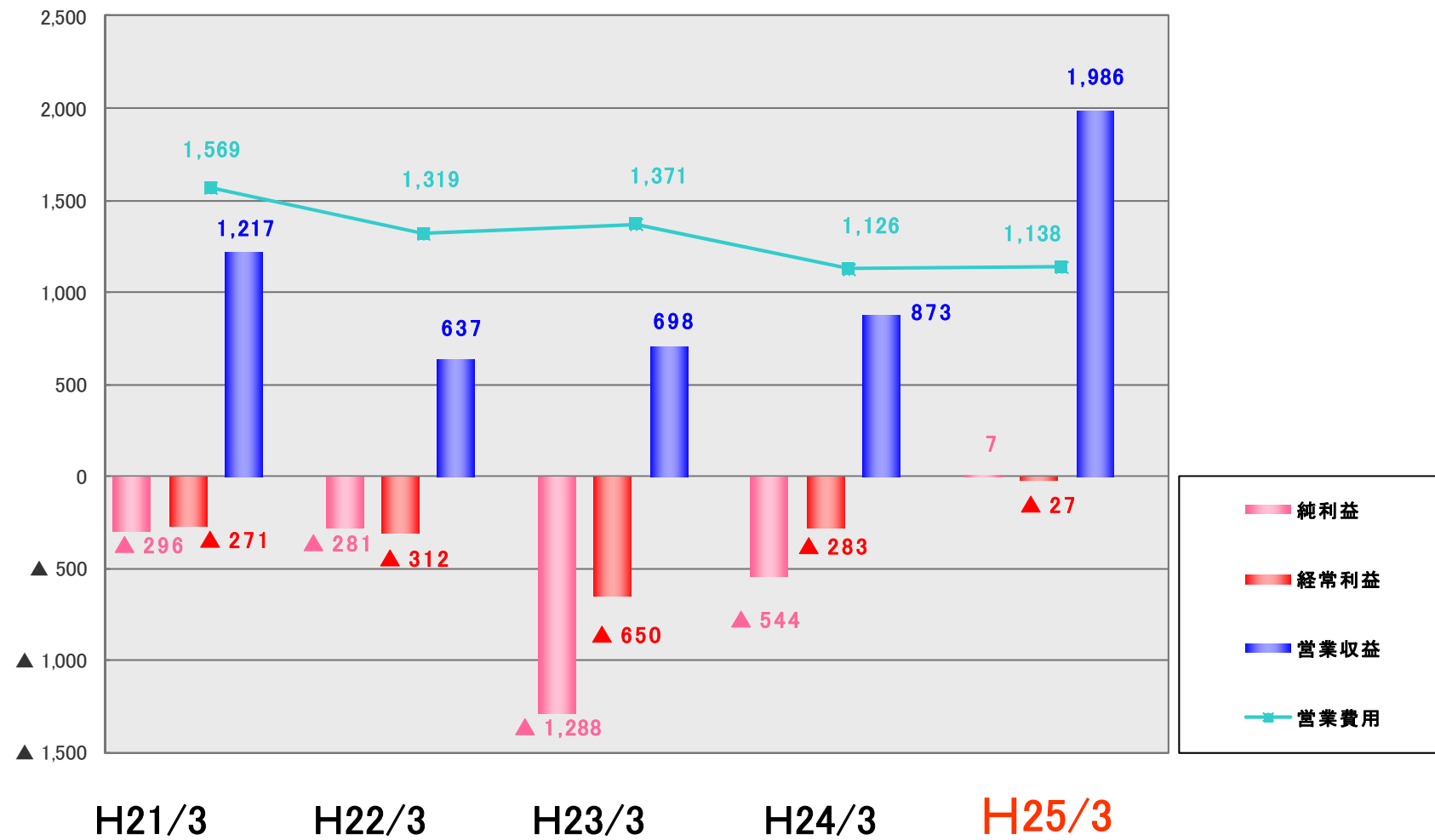
(単位:百万円)	H24. 3期	H25. 3期	対前年比増減
営業収益	873	1,986	1,113
内 受取手数料	786	960	174
営業利益	△ 297	△ 49	247
経常利益	△ 283	△ 27	255
当期純利益	△ 544	7	552
一株当たり当期純利益	△82.25円	1.09円	83.34円
一株当たり純資産額	481.89円	477.26円	△4.63円
自己資本比率	60.3%	54.0%	△6.3%
ROE(自己資本利益率)	△15.7%	0.2%	15.9%
ROA(総資産利益率)	△5.0%	△0.5%	4.5%

貸借対照表

(単位:百万円)	H24. 3期	H25. 3期	対前年比増減
流動資産合計	4,019	4,362	343
内 現金及び預金	1,712	1,460	△ 251
内 販売用不動産(含 仕掛販売用)	257	217	△ 40
固定資産合計	1,273	1,496	222
内 投資有価証券	368	400	31
内 土地及び建物	519	511	△ 8
資産合計	5,293	5,859	566
流動負債合計	1,905	2,518	613
内 預り証拠金(含 代用有価証券)	1,836	2,406	570
固定負債合計	168	151	△ 17
負債合計	2,100	2,697	596
純資産合計	3,192	3,161	△ 30
内 其他有価証券評価差額金	37	19	△ 18

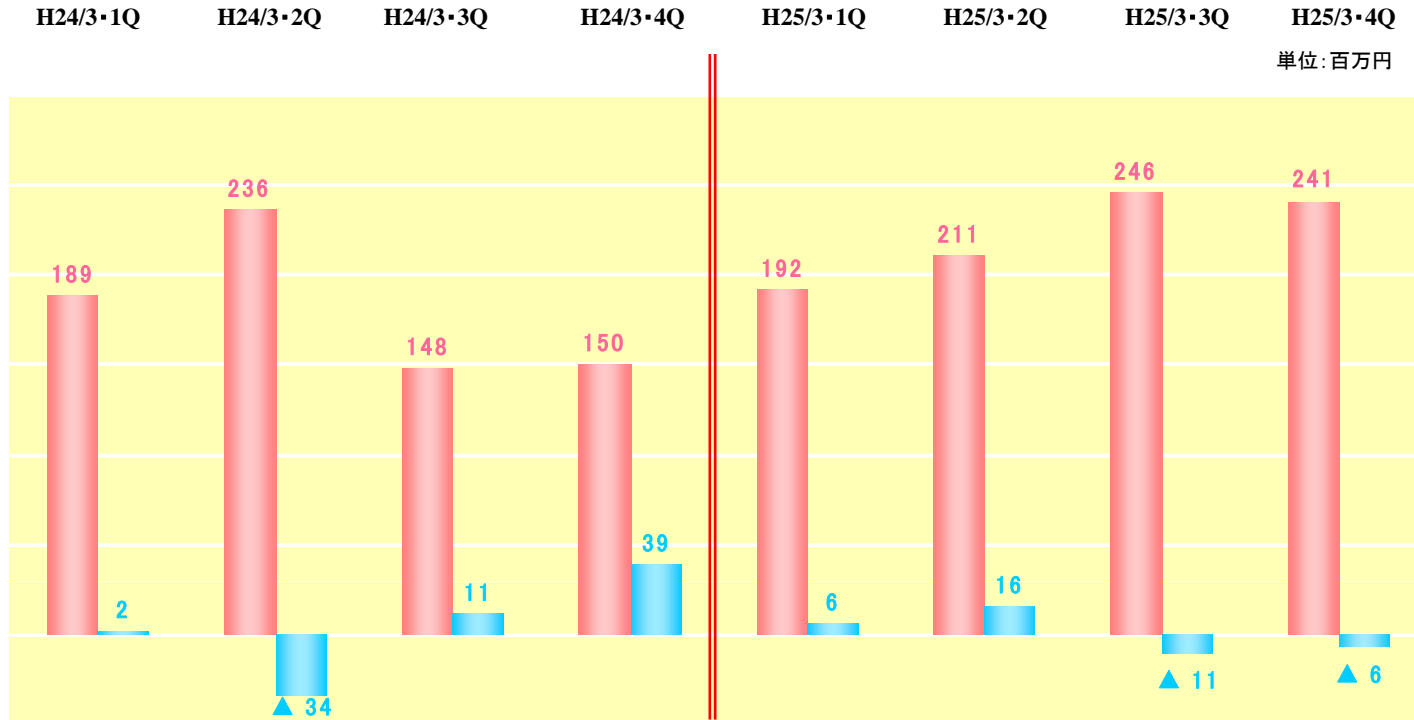
業績推移

単位: 百万円



＜投資サービス事業＞四半期営業収益の推移

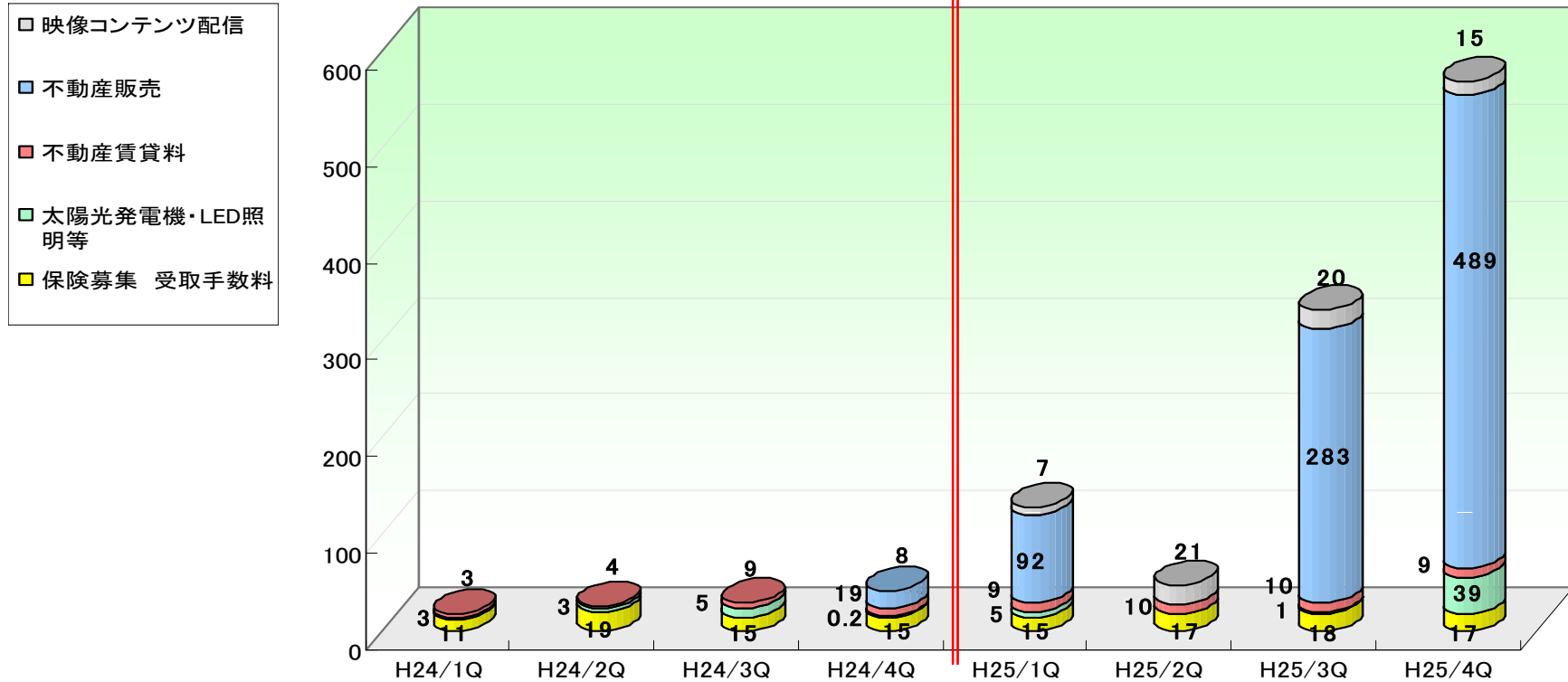
当社グループの業績は、市場動向に左右されるため、四半期毎など短期では大きく変動いたします。



(単位: 百万円)	H24/3 1Q	H24/3 2Q	H24/3 3Q	H24/3 4Q	H25/3 1Q	H25/3 2Q	H25/3 3Q	H25/3 4Q
受取手数料	189	236	148	150	192	211	246	241
商品先物取引	188	235	148	149	192	209	245	240
金融商品仲介	0.1	0.6	0.2	0.3	0.5	1	0.5	0.8
売買損益	2	△ 34	11	39	6	16	△ 11	△ 6
商品先物取引	2	△ 46	9	39	3	12	△ 11	△ 6
商品売買損益	0	12	2	-	2	3	0	0

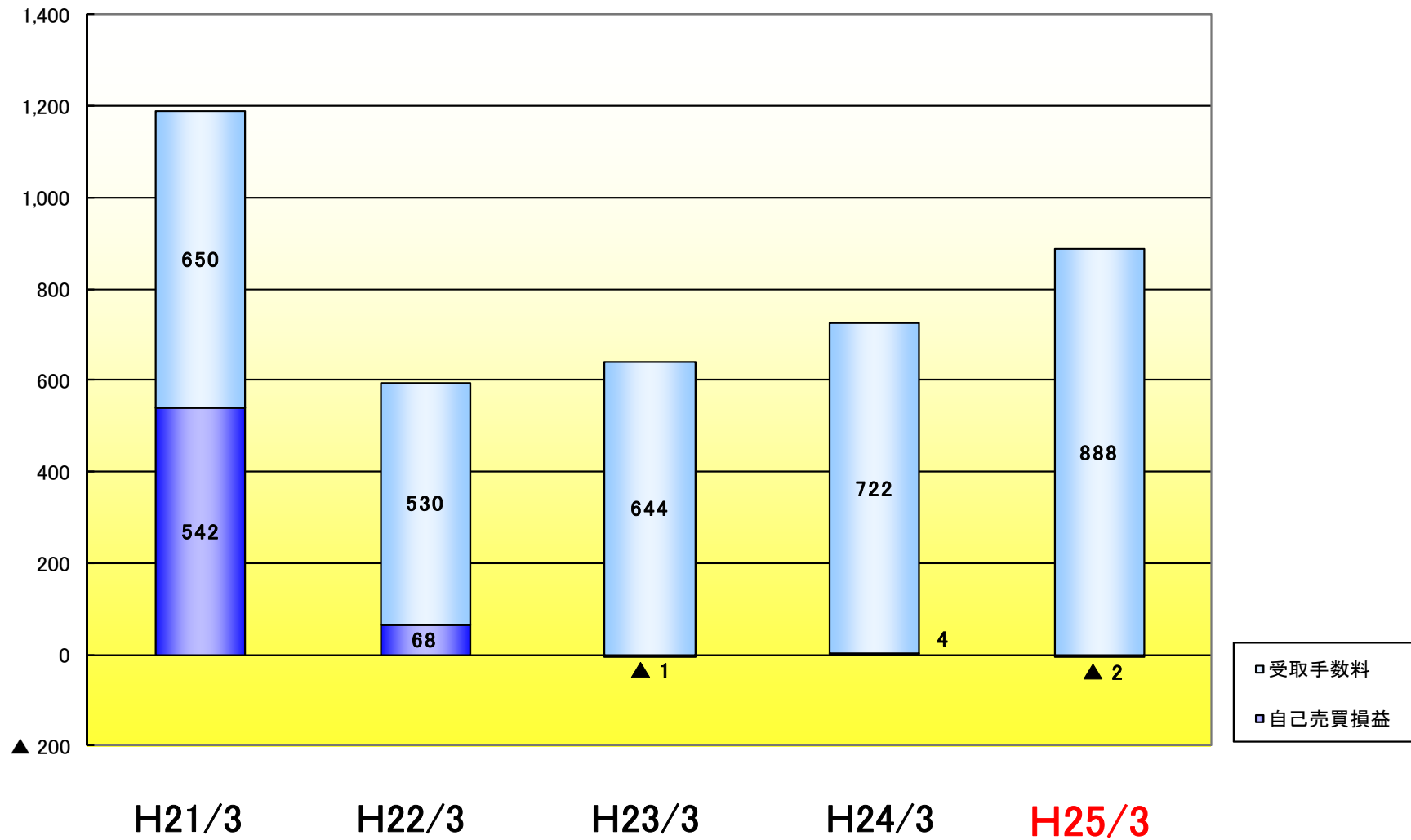
＜生活・環境事業＞四半期営業収益の推移

単位:百万円



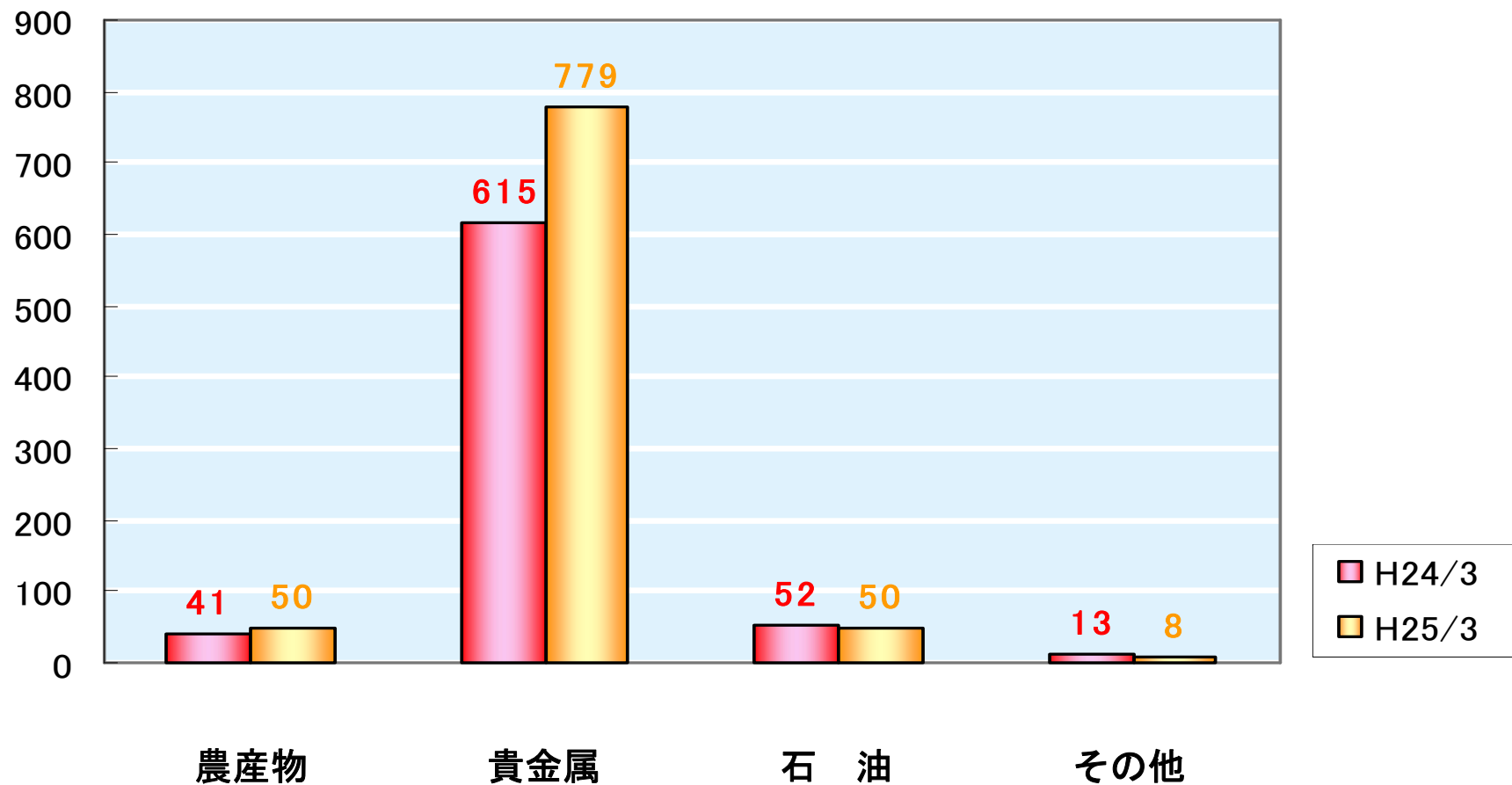
(単位:百万円)	H24/3 1Q	H24/3 2Q	H24/3 3Q	H24/3 4Q	H25/3 1Q	H25/3 2Q	H25/3 3Q	H25/3 4Q
保険募集 受取手数料	11	19	15	15	15	17	18	17
太陽光発電機・LED照明等	3	4	9	0.2	5	0	1	39
不動産賃貸料	3	3	5	8	9	10	10	9
不動産販売				19	92	-	283	489
映像コンテンツ配信					7	21	20	15

＜商品先物取引＞営業収益の推移



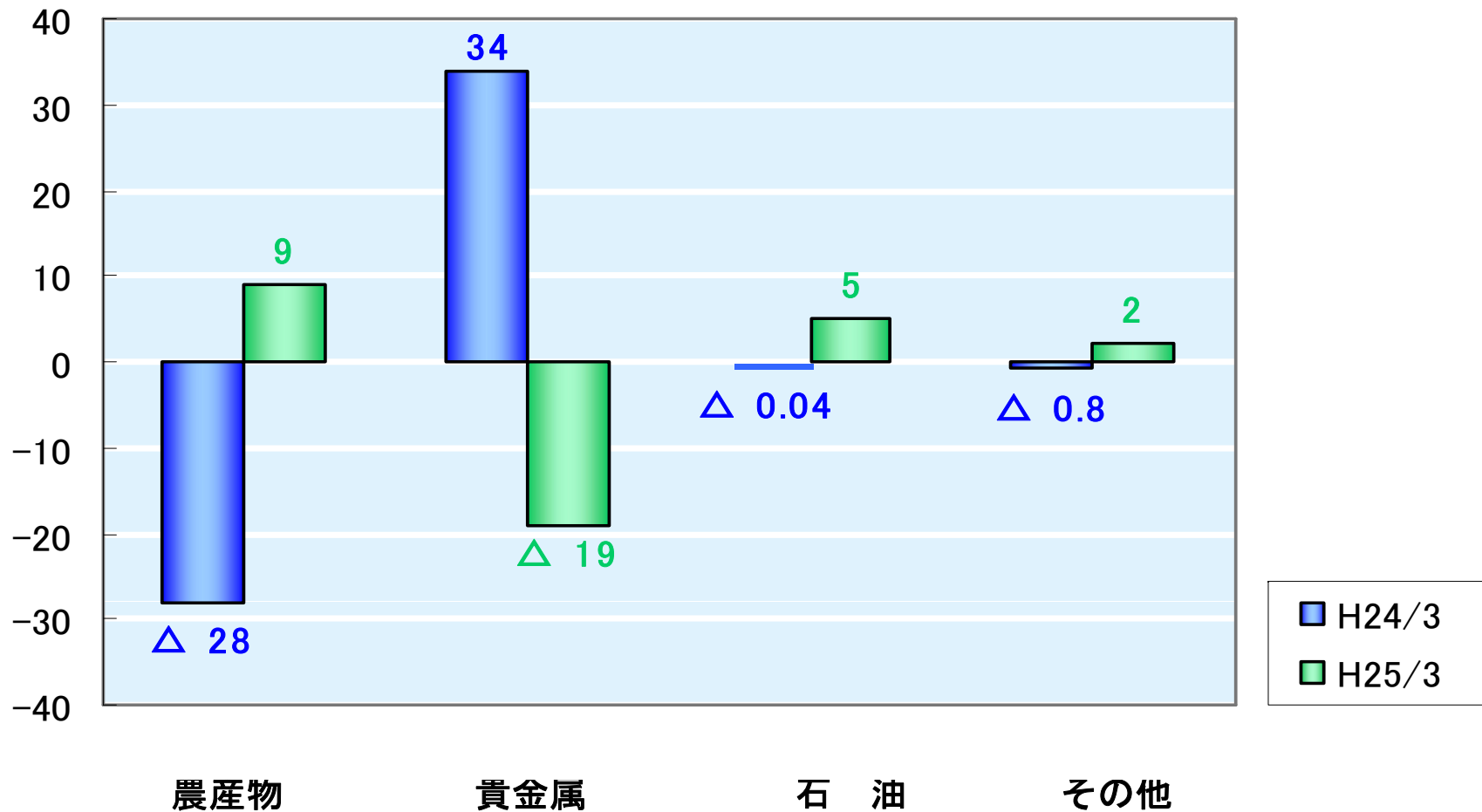
＜商品先物取引＞受取手数料の市場別内訳

単位：百万円



<商品先物取引> 自己売買損益の市場別内訳

単位:百万円



平成26年3月期業績予想について



平成26年3月期業績予想について

1. 平成26年3月期の業績予想の非開示について

- ① 商品先物取引業の業績が市場動向等に大きく左右されること
- ② 不動産の販売についても不動産価格の動向に大きく左右されること

などにより、確度の高い業績予想が困難であるため、平成26年3月期の業績予想は公表しておりません。

2. 平成26年3月期の事業別の取組

<投資サービス事業>

固定費の圧縮を中心に大幅な営業費用の削減を実施してまいりましたが、今後は、営業費用の圧縮効果を維持しつつ、収益力向上による黒字体質への転換、安定した収益基盤の確立を目指してまいります。

<生活・環境事業>

保険募集業務、不動産の賃貸及び販売など、既に行っている事業の収益基盤の強化に努めると共に、随時、事業内容を見直し、新たな分野への参入も含め、積極的に収益力の向上を図ってまいります。

※ 上記は、発表日現在における入手可能な情報並びに不確実要因に係る仮定に基づくものであります。
当社の業績は相場動向や経済環境等により変動するため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 フジトミ

経営企画室

E-mail: keiei-kikaku2@fujitomi.co.jp